

令和 6 年度 林業普及週間現地情報(10/13～10/18)

森林管理課

伐木作業時等における労働災害防止のための集団指導会

10 月 18 日（金）

令和 6 年 10 月 18 日、林業・木材製造業労働災害防止協会（以下「林災防」）沖縄県支部が主催する「令和 6 年度 伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」集団指導会（以下「指導会」）が名護市宇茂佐公民館において開催された。

同指導会は、厚生労働省が策定した「第 14 次労働災害防止計画」を踏まえ、林災防の安全管理士等による指導と併せて林野庁も連携し、林業普及指導員による伐木等作業の安全対策を推進する目的で実施されている。

今年度の指導会には、森林整備事業等の作業に従事する森林組合職員や作業員及び事業発注者である国、県、市町村等の関係者 42 名が参加した。

県林業普及指導員からは「沖縄県における林業労働災害に対する課題と対策」と題して、本県における作業現場で関連性の高い「松くい虫伐倒駆除」及び「熱中症」の 2 件について取り上げ講話を行った。

本県で過去 14 年間は林業・木材製造業における死亡災害はないものの、直近の死亡災害 3 件（H16、H17、H22）は松くい虫伐倒駆除と熱中症に関連したものであり、近年はいずれも危険度が増していることから、細心の注意が必要である。

今後も関係機関と連携しながら労働災害防止に向けた取り組みを継続し、労働災害ゼロに繋げたい。



（ 報告者：森林管理課 大城）